

チーム内の暗黙知を形式知化する方法

～対話による「表出化」「連結化」の促進～

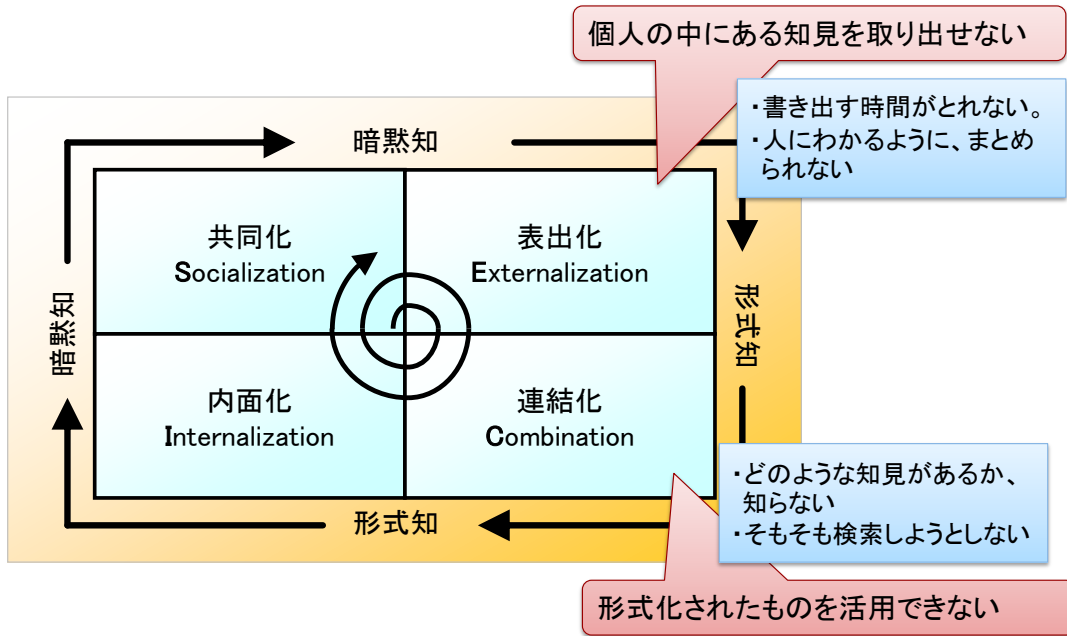
JaSST Tokyo 実行委員会

天野 勝

和田 憲明

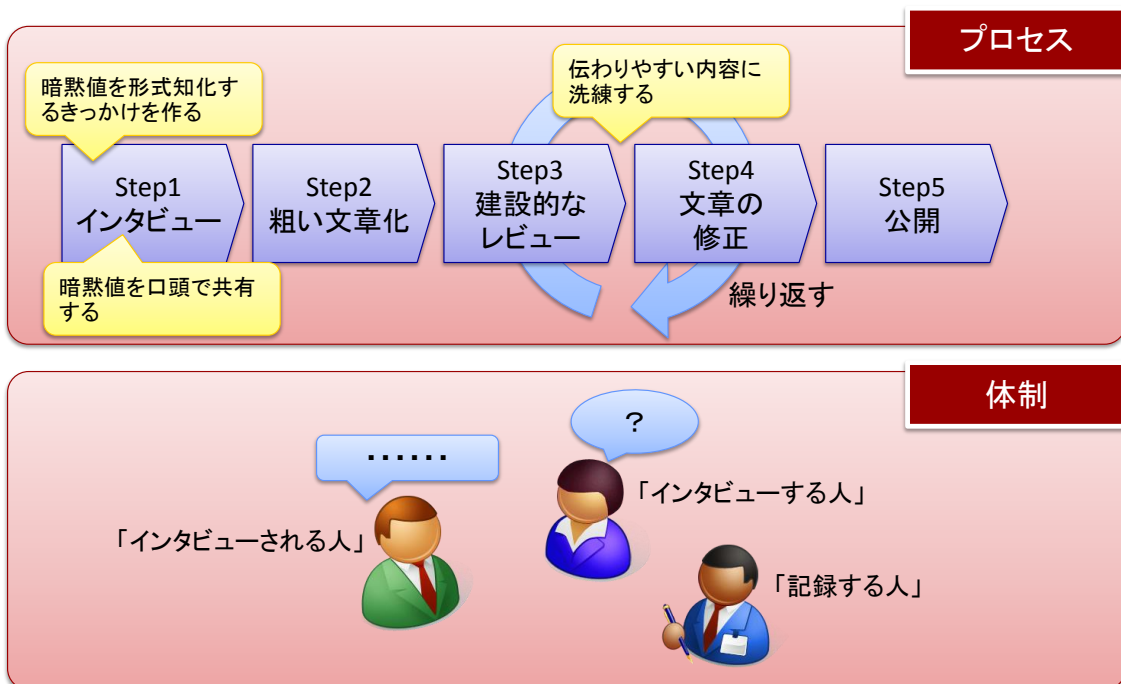
島根 義和

SECI モデルと現実的問題



参考:『知識創造企業』野中、竹内(1996)

提案する方法



PLoP (Pattern Languages of Programs) で行われている、Writers Workshop を参考にしています

演習の進め方

Step1: インタビュー

- (1) 3人のグループになり、「インタビューされる人」「インタビューする人」「記録する人」を決めてください
- (2) 「うまくやれたこと」「工夫していること」「自慢したいこと」、話すことを決めてください
職場での話に限定しますが、難しい場合はプライベートな内容でもよいです
- (3) インタビューする人は、インタビューする人から話を聞き出してください[7分間]
インタビューする人は、「あいづち」「うなづき」「うながし」をする
注意「否定しない」「奪わない」「押し付けない」
記録する人は、各項目に分類しながらにキーワードをメモして行ってください

3回ローテーション

Step2: 粗い文章化

- (1) ワークシートを、インタビューされた人に渡します
- (2) インタビューの記録を参考に、どのような内容をまとめるかを考えてください
取り上げるキーワードに印をつけてください
- (3) ワークシートの右欄に、パターン¹形式で文章化します
あとで、レビューしますので、まずは粗く全体を書いてください

【名称】	パターンの名称
【状況・文脈】	問題が発生する状況
【問題】	解決したいやっかいごと
【フォース】	その解決策を採用する理由
【解決策・結果】	問題を解決するために行なうこと、その効果

Step3: 建設的なレビュー

- (1) パターンを書いた人が、それを読みます[2分目安]
書かれていないことを、補足する必要はありません、書いていることをそのまま読みます
- (2) その他の人が、パターンについて「建設的」に意見を述べます[4分]
「より良い内容に」「より伝わりやすく」
否定的な意見や、誤字脱字のような些細なものは控えめに
パターンの別名も考えてください
パターンを書いた人は、発言禁止
質問された時は、答えてよい
ただし、質問への回答以外は話さないこと

3回ローテーション

Step4: 文章の修正

- (1) レビューでもらった意見をもとに、文章を修正する

¹ 特定の条件で頻繁に発生する問題へ解決策。さらなる詳細は、こちらをご覧ください
<http://ssslide.com/www.slideshare.net/kkd/pattern-canvasprimer-30135862>